

義太夫調査書

義太夫調査の旨趣

方今、世間有識の士が社會教育に注目し、政府當局者も亦地方改良の必要を認め、通俗教育に留意するに至れるは時代趨勢の著しき現象にして、國家の爲め大に慶賀すべき事なりとす。本會、亦此に見る所あり、先づ圖書館を擴張し、巡廻文庫を設けて讀書の趣味を促し、通俗講演會を開きて、知徳の涵養に努め、同時に義太夫の調査に着手し、今や一段の終了を告ぐるに至れり。仍て茲に調査の旨趣を述べて世間有識の士に語り、以て其の贊助を請はんとす。若し幸に本會の微意を諒とし、與に共に之れが實行に力むるを得ば、獨り本縣の社會教育に資する所あるのみならず、延いて全國に影響する所亦少なからざるべきは信じて疑はざる所なり。

抑々、吾人が今日の社會に立ちて十分なる活動を爲さんとせば、一面に心身の慰安娛樂を要求するは實に人情の自然にして、貴賤高下を問はず等しく免れざる所なり。特に將來社會の進邁に伴ひて人事漸く煩劇に赴き、往々

世路の艱難に悶え、人生の辛慘に苦み、爲めに活動の銳氣を挫き、自疆の精神を喪ひ、動もすれば人を怨み世を厭ふに至らんこと、必しも杞憂にあらざるべき故に、一層此の要求の痛切なるを感ぜずんばならず。然れども所謂娛樂と稱するもの、其の種類千差萬別にして、必しも穩健なる慰安の方法と見るべからず。社會風教上、善良の感化を與ふるものあると同時に、不良なる感化を及ぼすもの亦決して少しとせず。世の爲政治家、教育家、將た宗教家は勿論、苟も先覺の士深く此の点に留意し大に之れも矯正を圖り、改良に力め、成るべく高尚純潔なる娛樂を選択して社會の要求に應じ、適當なる指導を與ふるは最も緊要の事にして、寧ろ其の義務なりといふべし。而して其の高尚純潔なる娛樂と離も、一部人士の嗜好に止り、一般公衆の趣味に適せざるものは、社會教育の立場より觀るときは其の効果甚だ乏しき故に、一般に對する最良の娛樂は成るべく通俗にして、普く公衆の嗜好に適するものたるを要す。顧みて近く之れを本縣に求むるに、此の條件に近きもの實に義太

夫を措きて他に之れに優るものなきが如し。

夫れ義太夫は元祿の昔、世に行はれてより大正の今日に至るまで實に二百餘年を経、其の間多少の盛衰なきにあらすと雖も、全國到る處、如何なる邊土僻陬の地にも流布せる娛樂にして、特に本縣に於ては所謂「阿波淨瑠璃」として世に知らるるふまで其の關係甚だ深く、老若男女を問はず、概ね能く其の趣味を解し、最も嗜好に適せるは世の公評にして又誤なき事實なり。是れ本會が社會教育調査事項の一として特に之れを選定せる所以なり。

義太夫が風教上に及ぼす感化の力は善惡俱に大なるものあり。其の善良なるものは我が國民道德の眞髓たる武士道、即ち忠孝、信義、節操、廉耻等の諸徳を、最も平易適切に仕組み而も感情の發表極めて俚耳に入り易く、眼に一丁字なき走卒をも感動せしめ、懦夫をも奮起せしむるは、即ち義太夫の長所にして、社會教育上歡迎すべき價値も亦實に此に存す。然れども其の不良なるものに至りては、淫靡猥褻なる人情の幾微を穿ち、爲めに青年子女の情

焰を煽動し、墮落の動機を興へ、或は未熟の良心を攪亂し、不正陋劣の行爲を挑發する等知らず識らずの間に恐るべき害毒を流すこと亦決して少とせず是れ即ち義太夫の短所にして、少しく思慮あるものゝ首肯する所なるべし。義太夫が善惡兩方面に向つて及ぼす感化の大なること斯くの如しとせば、徒に之れに心醉熱中する者と、絶對に之れを蔑視排斥せんとする者とは、共に楯の半面を觀察せる皮相固陋の見たるを免かれざるものと謂ふべし。若し夫れ、其の弊を捨てゝ利を擧げ、其の短を去りて長を探らば、社會教育上有力なる資料の一たらずんばあらず。然りと雖も今日一般に流布せる義太夫は概ね百年乃至二百年前の著作に係り、爾來時代の變遷と共に吾人の思想感情にも著しき變遷を來せるが故に、之れを現代の感想に照さば、其の間、大なる逕庭なきを得ず。惟ふに昇平二百年安逸に耽り淫靡に狃れたる我が民俗の嗜好に投ぜんとして作られたる幾多語り物の如きは、或は國體上看過すべからざるものあり、或は猥褻聞くに堪へざるものあり。若し、今にして舊慣に

囚はれ、取捨選擇を忽にせば、漸く義太夫の品位を失墜し、識者の擯斥を招き、延いては憐むべき運命に陥らしむることなしと云ふべからず。是れ甚だ惜むべきにあらずや。

されば今日、世間に流布する語り物に就き、能く其の内容を調査し、高尚純潔なるものは之れを推奨し、同時に淫靡猥褻、又は殘忍酷薄等、風教上惡感化を及ぼす虞あるものは、之を排斥し、薰蕕玉石を別ち、人をして取捨の便を得しむること、實に目下の急務なりとす。彼の講談師が教育講談を標榜して其の地位を高め、浪花節が武士道を鼓吹して社會の歡迎を受けたるものは、抑々何故ぞや。假令其の人の技能、入神の妙ありて聽衆を動かすに足るものあるに因るべしとは云へ社會の趨勢を觀破し、巧に現代の要求に應じて其の内容を改良したるもの主たる原因にあらずして何ぞや。

今日の社會は、東西新舊思想の渦中に漂蕩せられ、五里霧中に彷徨するの觀あり。此の時に當り殊に此の種教育的娛樂を要求すること愈々切なるを感

せざるを得ず。往昔希臘が國家の經營として演武的劇場を設立せしが如き、近時歐米諸國が劇を以て教育感化に利用するの傾あるが如き、是れ皆施政上教化上相當理由の存するによらずんばならず。今や文部省は通俗教育調査會を興し、圖書の良否を審査し、幻燈及活動寫眞の材料を精査し、以て適當の指示を與へつゝあるもの、亦是れ社會教育に資せんが爲めなるべし。本會が吾も徳島縣に於ける社會教育の資料として、義太夫調査の事業を企てたるもの、亦此の旨趣に外ならざるなり。

斯の如くにして歴史あり根柢ある義太夫、及び其の演藝家も新なる生命を享け、純潔なる教育的娛樂の一地位を確保し、永く風教上に資することを得ば本會の希望は即ち足れり。茲に調査の旨趣を述べ所信を明かにすと云爾。